

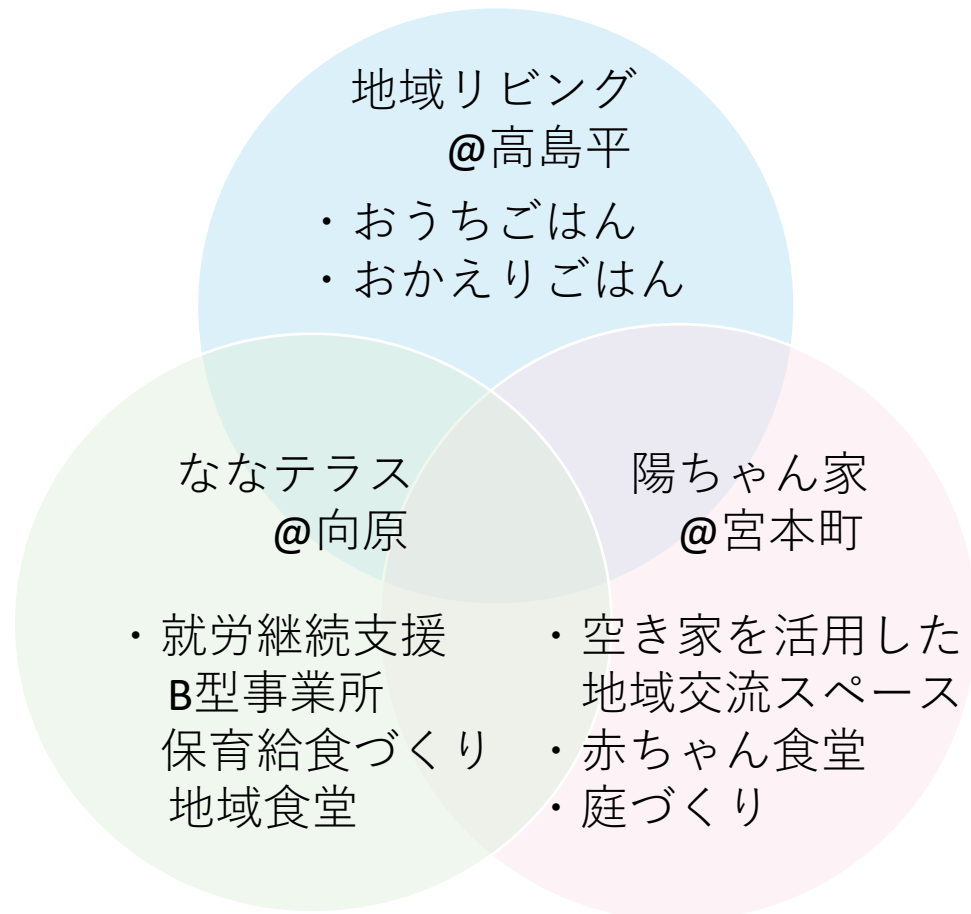
2/17東京ホームタウン大学
**子どもも高齢者も障がい者も
多様性にかかれた居場所づくり**

NPO法人ドリームタウン代表理事
井上温子

現在の活動について

ドリームタウンの居場所づくりは、2013年に高島平でスタートし、2021年より新たに2つの多世代共生型の地域交流拠点を開設。

板橋区内3か所において、居場所のあるまちづくりを推進しています。



自己紹介

井上 温子 (1984年生まれ。出身：青梅市)
2003年～大東文化大学 環境創造学部入学
2006年～ゼミで板橋区高島平の地域活性化に携わる
中板橋の赤ちゃんカフェにてアルバイト…①
2008年 大東文化大学 環境創造学部卒
2008年～同大職員
コミュニティカフェグリーン…②
2011年～NPO法人ドリームタウン立ち上げ、代表理事
区議会議員(無所属1期目)
2013年～**地域リビングプラスワン設立…③**
2014年～いたばしコミュニティスペース連絡会を有志で立ち上げ
2015年 区議会議員(無所属2期目)
2017年～**立教大学 21世紀社会デザイン研究科入学**
2019年 同研究科卒業
区議会議員(無所属3期目)
2021年～**陽ちゃん家(宮本町)設立…④**
レストラン&地域交流スペースななテラス(向原)設立…⑤
2023年 区議会議員(無所属4期目)

**2006年以降、
5つの居場所を運営。**

**居場所の効果を実感。
小学校区に居場所をと
区議会議員に。**

**居場所ってどこにある
の？と言われて連絡会
立ち上げ**

**壁にぶつかり、
大学院に入学。
居場所について研究。**

**新たなモデルづくりへ
実践。**

学生時代の取り組み

＜高島平再生プロジェクト(みらいネット高島平)＞

- 高齢化する団地と少子化の波が押し寄せる大学がコラボ。
- マイナス×マイナス＝プラス

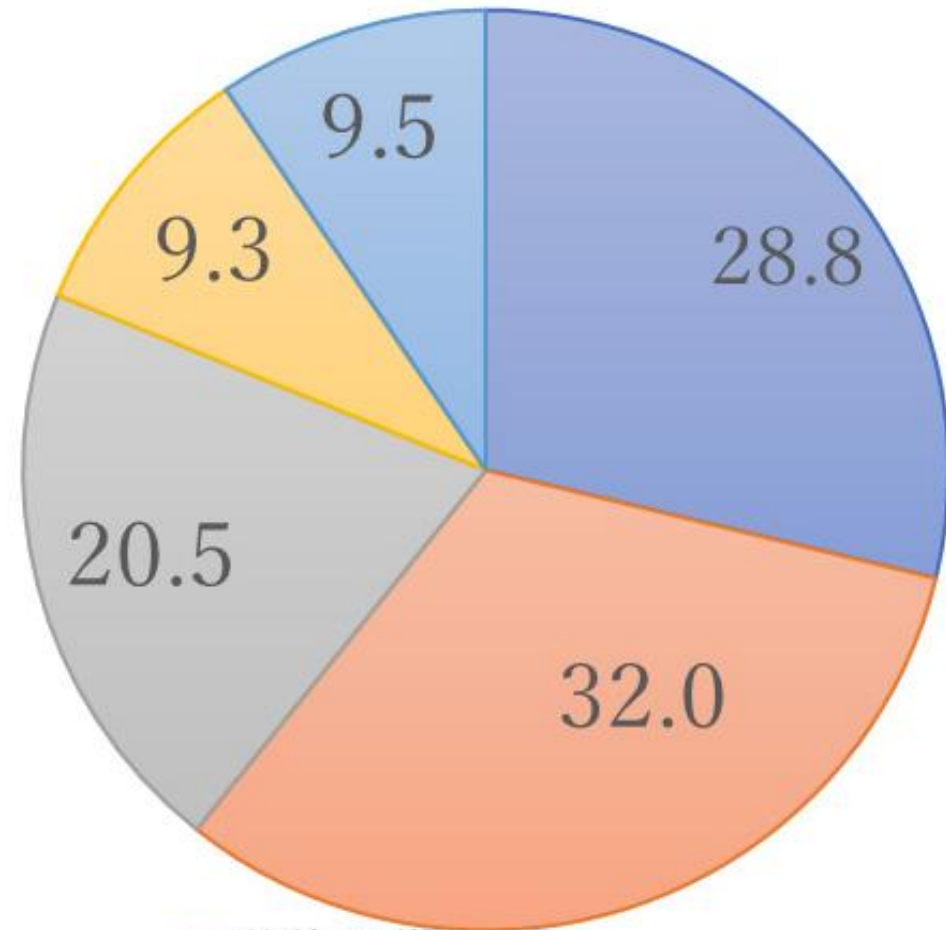
私が主に携わった取り組み

- ・ 団地入居プロジェクト(学生のボランティアコーディネート)
- ・ コミュニティカフェグリーン

→ 異質な人と人が出会う接点の場から
コミュニティが生まれる面白さを実感

世帯のカタチは どうなっている？

- ・ 単身世帯約3割(R3国民生活基礎調査より)
- ・ 単身、夫婦のみ 6割超え
- ・ 生涯未婚率:50歳時未婚率
男性25.7%
女性16.4%
(2020年国勢調査)



- 単身世帯
- 夫婦のみの世帯
- 夫婦と未婚の子のみの世帯
- 三世代世帯
- その他の世帯

高齢化率は？

板橋区23%

高島平2、3丁目 44%

一人暮らしの 高齢者世帯の割合は？

	H22	H27	R2
全国	9.2%	11.1%	12.0%
板橋区	10.9%	12.5%	12.0%

2013～ 地域リビング プラスワン



- 孤立しやすい地域に、日常をシェアするみんなのリビングを設置。
- 新たなコミュニティを生み出す場所
- 小さなイノベーションが起きる場所



ドリームタウン

おうちごはん

● お昼ごはん

地域のボランティアが交代で「ごはん番」「おうち番」を担当して「今日のごはん」を作り、地域の人たちがみんなで会話を楽しみながら食べる。



ドリームタウン

おかえりごはん

- 夜ごはん(こども食堂)

子どもたちがひとりで帰ってこられる第二のリビングの提供及び、保育園帰りの親子の地域とのつながり作り。



地域リビング

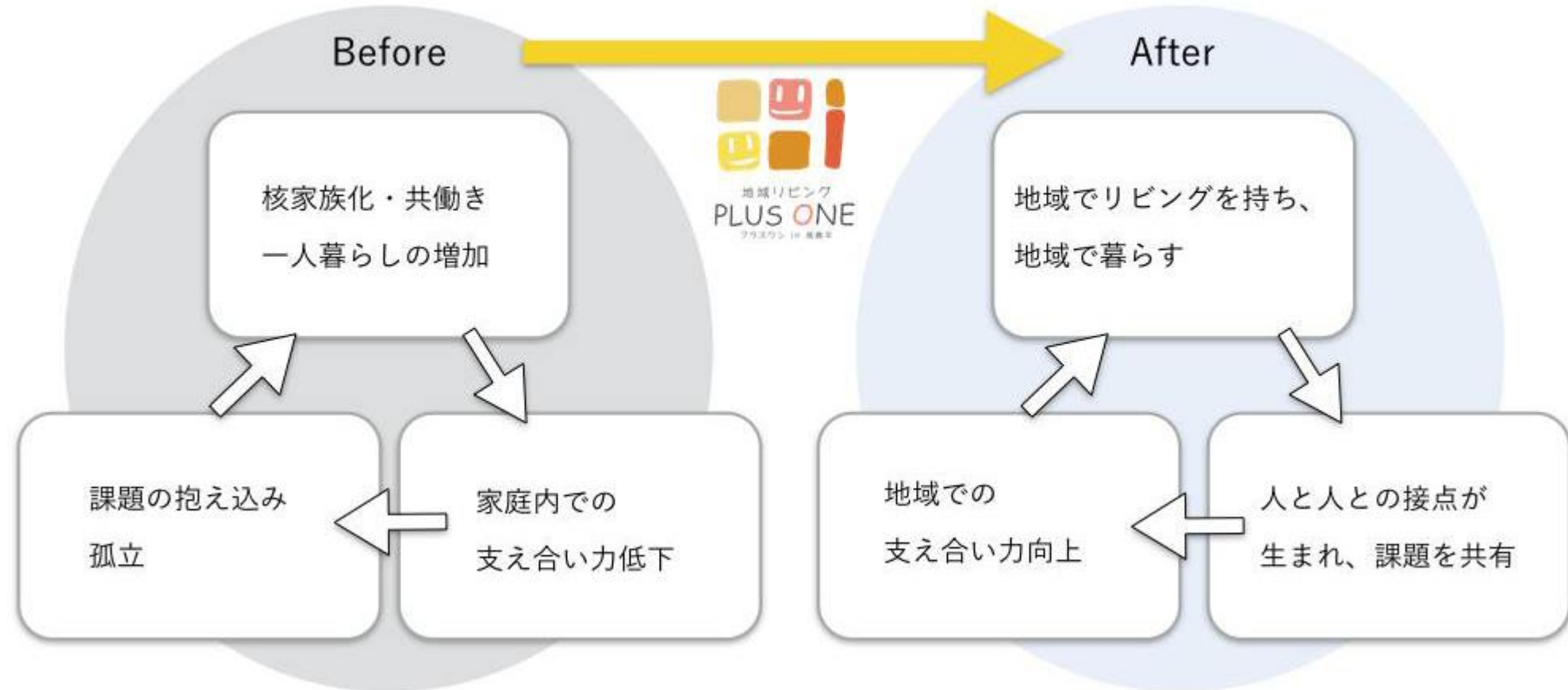
- 利用者状況（21年度累計）
- おうちごはん 2,378人 開催回数233回
使っている事業：通所型サービスB 対象者317人 年間48万円
- おかえりごはん 2,754人(子ども1,625人、保護者633人、その他496人) 開催回数151回
使っている補助：子ども食堂等支援事業補助金 年間120万円
- こども宅食 5家庭97食（22年2月～3月）
使っている事業：支援対象児童等見守り強化事業 1世帯1回900円+世帯人数×330円



地域リビングでの小さなイノベーション



地域リビングの役割：暮らしのシェア



ビジョンとミッション

●Vision **ビジョン**

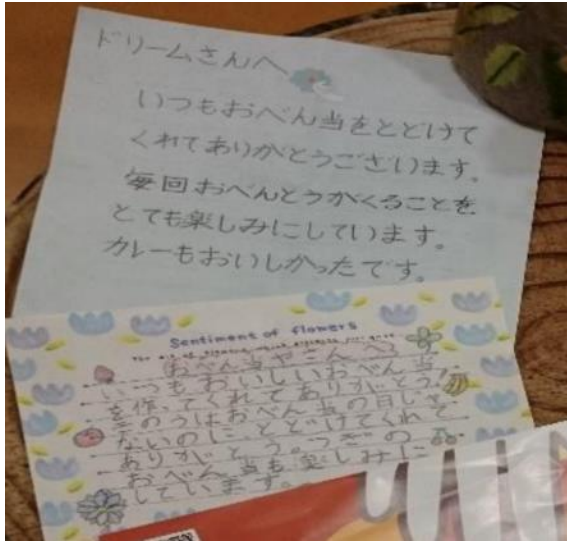
私たちは、だれもが自然体で生きられ夢と希望が抱ける地域社会“ドリームタウン”を実現します。

●Mission **ミッション**

1. コンビニの数くらい居場所のある地域社会を促進する。
2. ご近所の人と人をつなぎ、小さなイノベーションを創出する。(きっかけや役割がある)
3. 社会起業家によって運営される街をつくる。

こども宅食

- 2022年2月から開始
- 児童扶養手当受給世帯やヤングケアラーにお弁当を提供。
- 子ども家庭総合支援センターやスクールソーシャルワーカーからの紹介もあり、全区で事業実施をする必要性を実感。



こども宅食報告会 & 勉強会

- 子ども家庭総合支援センター所長の講演
- ドリーム弁当の実施状況の報告
- 文京区の先行事例を勉強





陽ちゃん家

- 少しずつ活動をはじめている空き家を活用した拠点。
- 赤ちゃん食堂やDIY、お庭づくりなど様々な活動が始まっています。



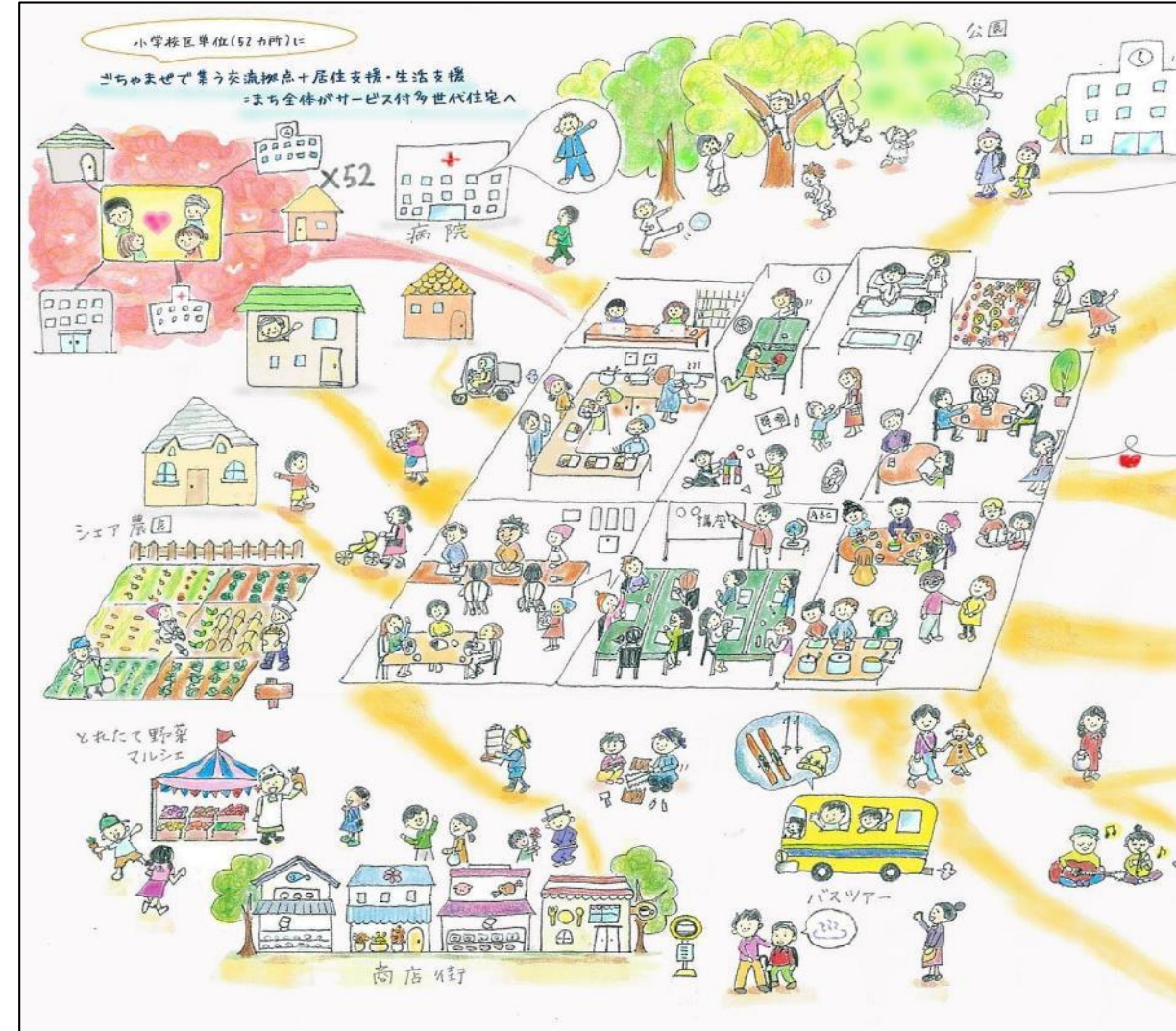
就労継続支援B型事業所 ななテラス



 ドリームタウン

ななテラスのミッション

- ①ごちゃまぜの地域交流拠点を
つくる。
- ②地域交流拠点を障がい者就労
で運営する。
- ③多様な人が互いに理解し、支
え合える地域づくりをおこなう。

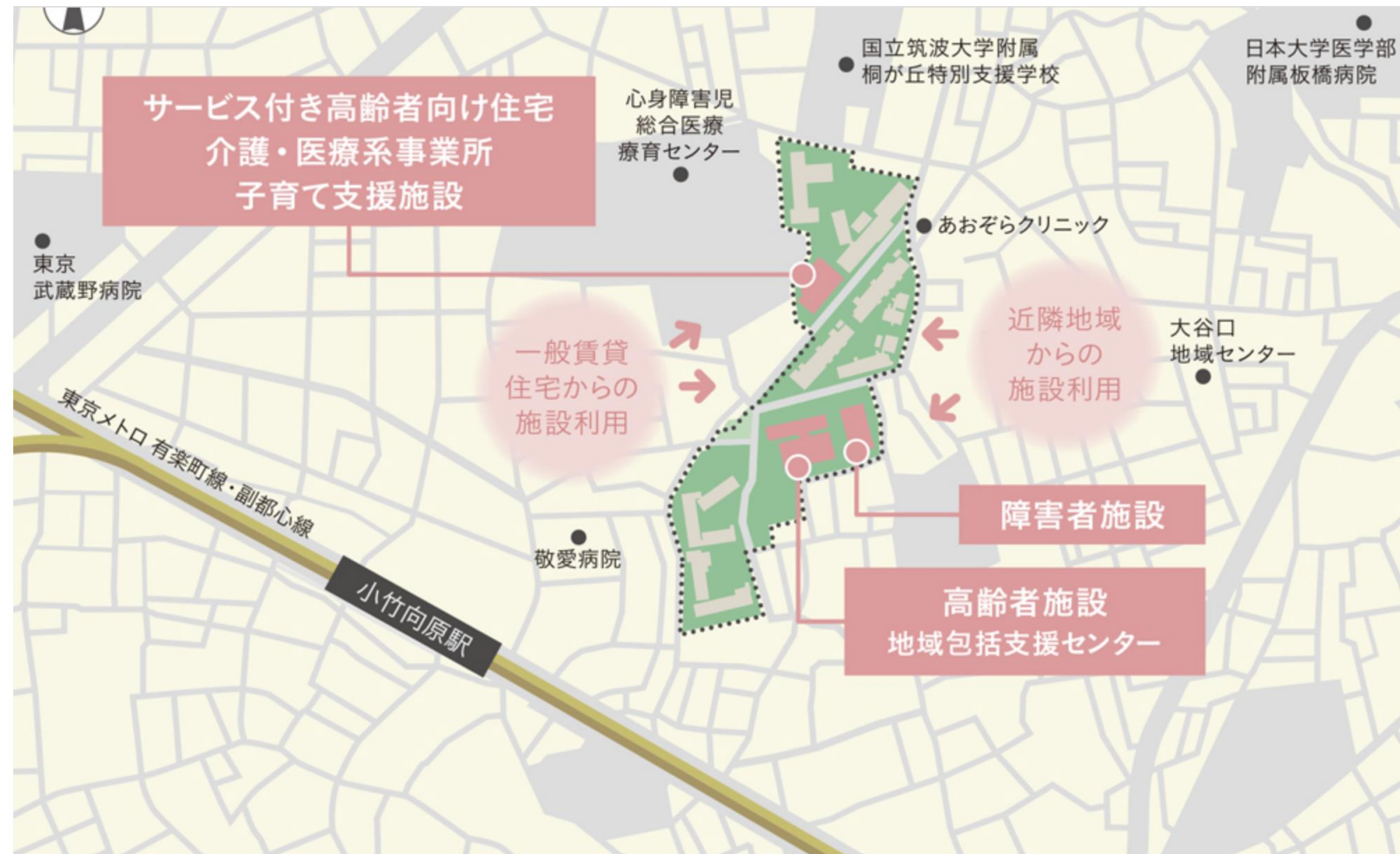


ななテラスが できた背景

- JKKが施設を整備
- 社会福祉法人こうほうえんがサービス付き高齢者向け住宅等を運営
- こうほうえんがレストラン・保育給食づくりを給食会社に委託
- レストランや地域交流スペースの運営課題についてミーティングを実施。
- 給食会社からドリームタウンに委託先を変更

JKK東京のHPより

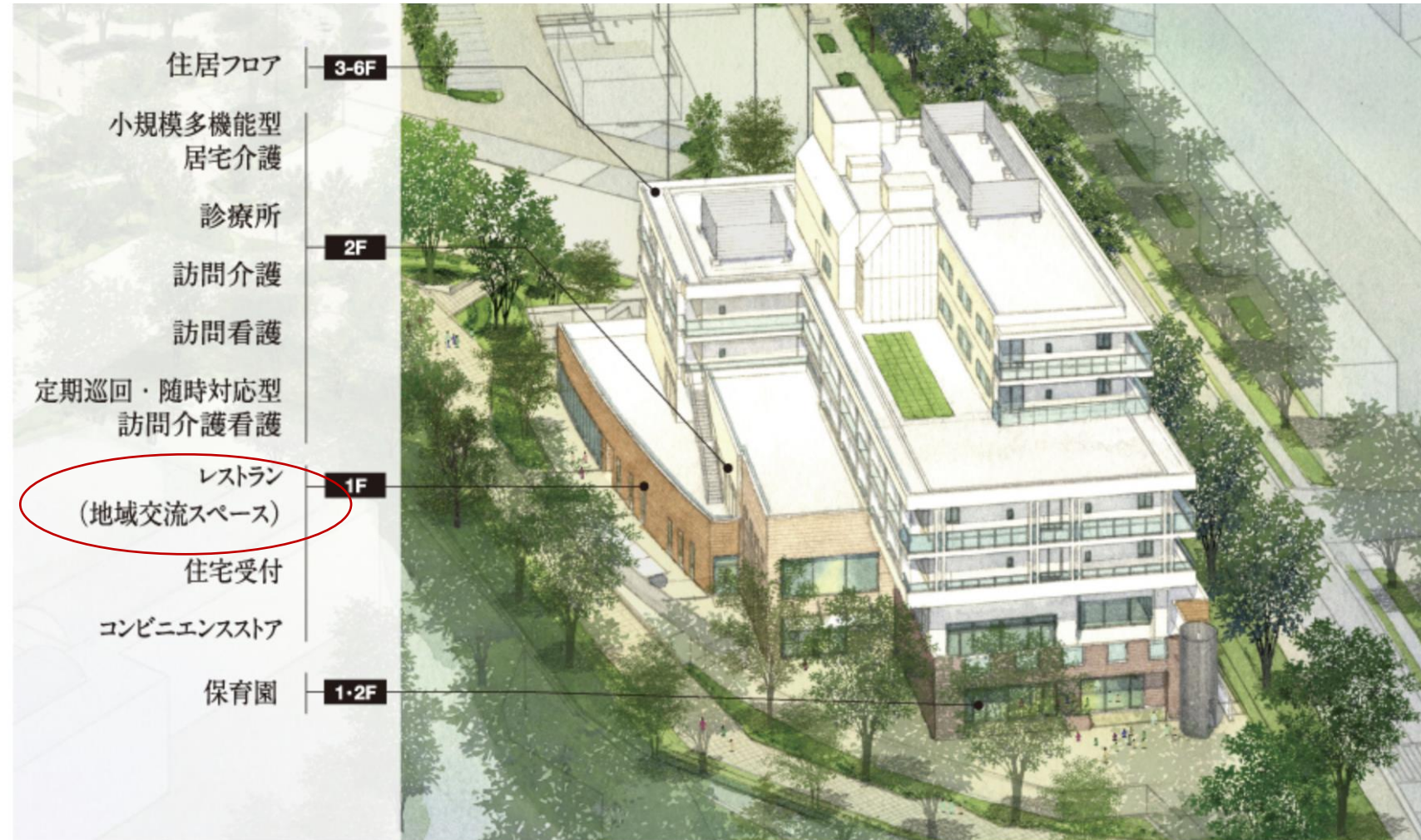
<https://www.to-kousya.or.jp/action/t-mukaihara/mukaihara/act2.html>



住み慣れた地域での暮らしを包括的に支える福祉機能の強化

板橋区が策定した「板橋区都市づくりビジョン」では、向原周辺地域における都市づくりの展開方針として「医療・介護拠点を核とした、安心の生活圏の形成」が掲げられています。公社では、敷地の中央に介護・医療施設と子育て支援施設を併設したサービス付き高齢者向け住宅を整備しました。また、創出用地では高齢者・障害者施設や地域包括支援センターを誘致しました。当住宅だけでなく、地域にお住まいの方も含めた多様な方々が、住み慣れた環境で必要なサービスを受けながら暮らすことができるよう、福祉機能の強化に取り組んでいます。

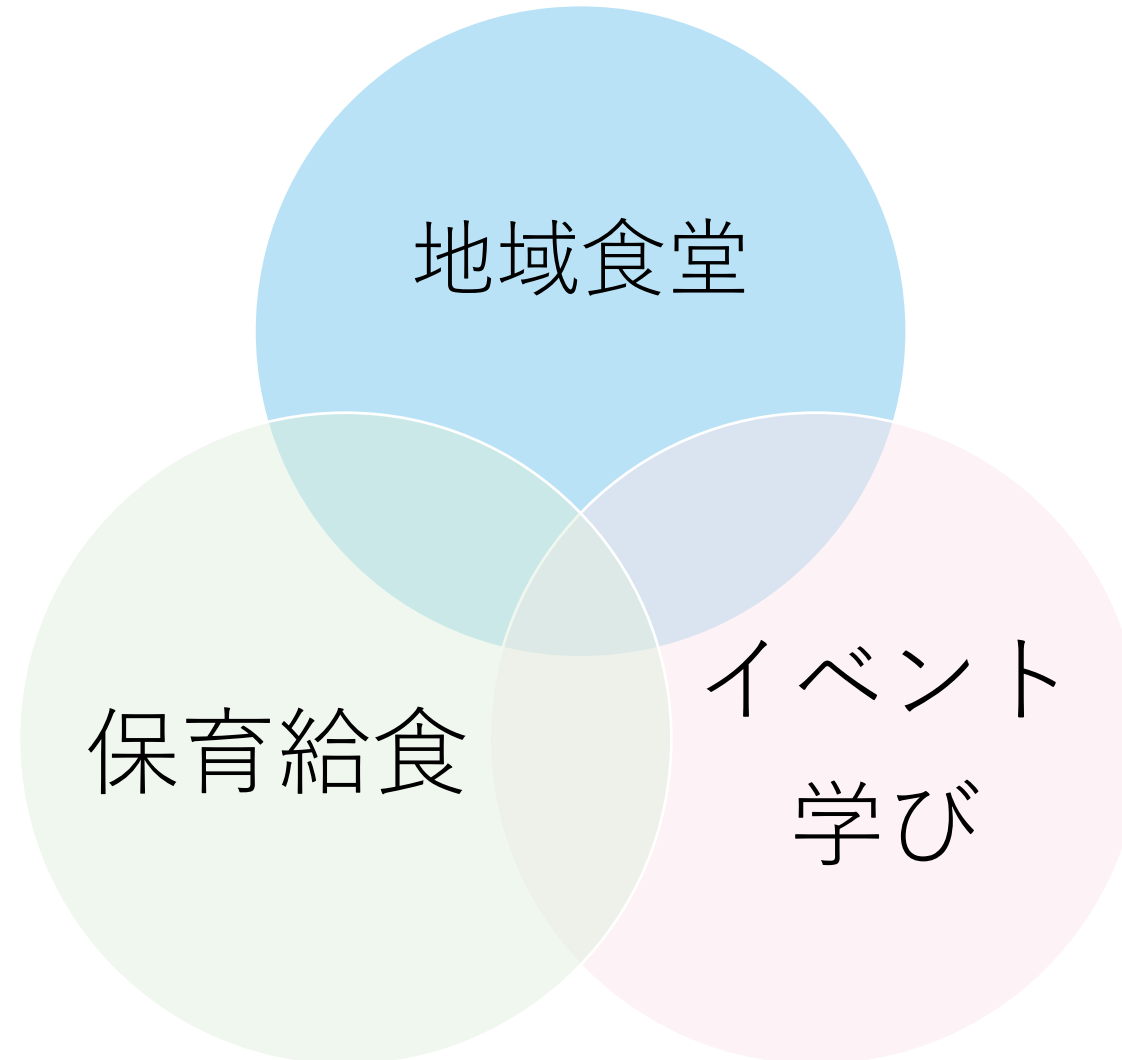
ななテラスができた背景



こうほうえん向原HPより：

<https://www.satsukimukaihara.jp/facility/>

ななテラスの3つの事業～



🏠 ドリームタウン



地域食堂



保育園の給食を作るお仕事をします。

保育給食



イベント・学び

学びや地域交流（子ども食堂や音楽祭）などのイベントを開催。

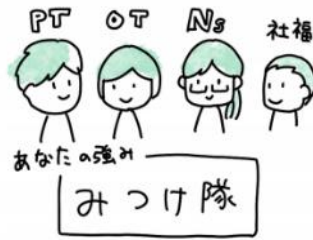
多様な人と自分のペースで働く ドリームタウン



障がいを問わず、一緒に働ける場所。多様な人との交流を通して、成長していきます。



働く日や時間を柔軟にして、働きやすい職場環境を作っていきます。



本人の強みや興味に合わせて、自分を活かした仕事を作っていきます

今後目指すこと



誰でも安心して来れる場所、
いられる場所を提供します。



強みや興味に合わせて、
自分を生かした仕事を作っていきます。



地域の困りごとを助けるお仕事をします。
役にたつ喜びのある仕事を目指します。

住民主体で運営する多世代共生型の居場所の財政効果

—地域リビングプラスワンの事例から—

The Financial Effect of Local Community Place:
The Case of "LIVING PLUS ONE"

井上 温子
INOUE Atsuko

【要旨】

本稿は、世代や国籍、障がいの有無を超えて、多様な人たちが集う「多世代共生型の住民主体で運営する福祉的機能を備えた常設の居場所（以下、共生型の居場所）」の財政効果について明らかにすることを目的とした。

研究方法は以下の通りである。①研究対象とした「地域リビングプラスワン」が共生型で福祉的機能を備えた場であるか否か、資料やインタビュー調査から検証を行った。②共生型の居場所である「地域リビングプラスワン」の属性別利用者数から支援が必要な人（以下、要支援者等）の利用回数を調べた。③共生型の居場所と類似している行政事業を複数取り上げ、自治体作成資料に基づき、事業ごとに利用者一人あたりにかかる経費について調べた。最後に、②で調べた属性別の要支援者等がそれぞれ対象となる③で取り上げた既存の行政事業を1年間利用した場合の経費についてシミュレーションを行い、共生型の居場所の財政効果について検証した。

属性別の財政効果額を総計した結果、20,427,347円となり、十分な財政効果があることが分かった。しかし、既存の行政サービスを利用した場合の経費の積み上げとなっており、財政効果を示す一つの方法にすぎない。

今後、多様な人たちが混ざり合うからこそ生まれる共生型の居場所の価値に焦点をあて、福祉的效果や財政効果について、さらに研究を進めていきたい。

キーワード：居場所、多世代、地域共生社会、住民主体、財政効果

地域リビングの実践を
研究しまとめました！



紀要はこちらから
読めます。